

生活の中に読書があることがあたりまえになるように

学校名 熊谷市立富士見中学校
所在地 熊谷市中央三丁目103番地
電話 048-521-0314

1 本校の概要

富士見中学校には、昭和22年の開校以来、文武両道の精神が脈々と受け継がれている。本校では、文武両道の「文」を授業をはじめとする「学習」、「武」は部活動・クラブ活動・習い事などをはじめとする「自主的な体験活動」と捉えている。文武両道の精神を大切に、生徒一人一人の個性や能力を伸ばす教育を推進することで、本校の学校教育目標『知・徳・体』のバランスのとれた日本の「富士見中生」の実現を図っていく。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ e 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

読書は、人生をより豊かなものにするだけでなく、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするなど、生徒にとって資質・能力を高める重要な活動の一つである。

ア 読書を通して心に栄養を（朝読書）

「富士見中学校の1日は心を整えて朝読書で」と題し、毎日良いスタートを切っている。登校し、身支度を済ませた後は椅子に座り、読書の準備を進める。10分間の時間をフルに活用し、心に栄養を与えている。私語はもちろん厳禁。閑かな雰囲気の中、あわただしい気持ちを落ち着けている。



また、1学年を対象とし、図書館レクチャーを行った。実施後は来室数も増え、積極的に本を借りる姿も見られた。カウンターの前に列をつくる様子や、貸出

カードの枚数を仲間同士で競う姿からは、読書習慣が身に付いていると実感できた。

イ 必見！先生のオススメ本

図書館に足を運んだ後は、色鮮やかなポップが読書を案内する。教員が読んでほしい本を紹介する掲示である。委員会活動の一環でインタビューを実施し、ポップを作成した。取材した本については朝会の際に発表し、さらなる読書活動の推進を目指した。



生徒は掲示を参考に本を探し、仲間同士で交流するなど、興味・関心を高めることができた。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 朝読書については、ほとんどの生徒が集中して読書をする姿が見られ、今後も継続していきたい富士見中のスタイルとなっている。また休み時間に本に親しむ生徒もおり、読書が生活の一部になっていることが実感できる。
- ・ 図書室の来室者数が多い日では50人を超えており、小学校で身に付いた読書習慣の流れを止めず、本に親しむことができています。

(2) 課題

- ・ 読む本に偏りがある生徒もおり、様々なジャンルに親しむことができていない。
- ・ 決まった生徒の来室が多く、学校全体で読書に親しむことについては困難を感じている。

(3) おわりに

さらに委員会活動を活発にし、来室者を増やす取組を行いたい。図書室内の環境整備にも力を注ぎ、図書館補助員の先生と協力しながら、落ち着いて本に親しむことのできる環境を整えたい。今後も生徒が読書を通じてコミュニケーション活動を行える環境を提供していきたい。